

## 三越タクシー 株式会社

所在地 : 長岡市柏町1-1-7  
代表者 : 代表取締役社長 野村 修士  
業種/事業内容 : 運輸業  
従業員数 : 100名(男性90名・女性10名)

タクシー業界は労働集約型産業の一つ。そのため、三越タクシーでは早くから人材の価値を高めることに着目し、多くの社員がケア輸送士の資格を取得しています。また女性ドライバーも定着し、活躍を続けています。

代表取締役社長の野村修士さん、総務課長の平澤篤さん、女性ドライバーの青木由香里さんにお話を伺いました。

# 女性ドライバーが 育児休業を取得

## 職場復帰で継続就労を実現

— 現在、女性ドライバーは何名在籍されていますか。

平澤 6名在籍しています。青木さんを始め、定年後でも再雇用で元気に活躍している女性ドライバーもいます。高齢者や女性のお客様には女性ドライバーは安心できると喜ばれます。

当社は男女平等、待遇も一緒、成果主義ですので、元気であれば男女問わず60歳過ぎの方も中途採用しています。

— 青木さんは御社の女性ドライバーで初めての育児休業を取得されたと聞きましたが。

青木 2007年に育休を取得しました。第1号なので会社に迷惑や負担を掛けるのではないかと不安でしたが、親身に相談に乗っていただき安心して育休に入ることができました。また妊娠中は、事務職などの配置転換の選択もありましたが、新しい仕事を覚えるには逆にストレスもあるだろうし、体への負担も大きいらしくと提案して頂き、早めに産休に入らせてもらうなど会社から配慮して頂きました。

— 育休取得後、職場復帰に不安はありませんでしたか。

青木 以前のような仕事のペースに戻るのか緊張や不安はもちろんありました。しかし復帰前に会社へ行き、休業中の顧客リストや資料に目を通すことで不安が軽減でき、以前と変わらず皆が声を掛けてくれました。初日からスムーズに戻ることができたのは、社員が互いに信頼していること、家族的な雰囲気でのコミュニケーションが取りやすい風土だからだと感じます。

— 介護休業を取得する社員はいますか。

平澤 50歳から70歳以下の社員に家族の介護をしている人が多く、2010年は2名の男性社員が取得しました。大体2カ月程取得されます。チームでシフトを組んでいる場合は、同時に複数の休業取得者が出ると代替要員の調整が難しいこともありますが、そこは「お互い様」という理解で協力をお願いします。また、空いた時間に会社に来て休業中の顧客名簿や資料に目を通してもらうなど、ブランクや不安をできるだけ最小限になるよう、復帰に向けたフォローをしています。

— 人材育成にも力を入れていますね。

野村 この業界は人件費が売上の約80%を占めています。だからこそ人材の価値を高める必要があると以前から感じていました。中途採用も悪くないが若い力が欲しい、17年程前から学卒者の募集を始めました。

当初は新卒を募集しても集まらず、諦めずに毎年募集を出していると徐々に優秀な学生を獲得できるようになりました。不思議なことに女性の新卒が増えると男性の新卒も増えました。女性の活躍が男子学生に刺激を与えたのかもしれない。

それとともに、社員のケア輸送士の資格取得を目指しました。

— どのくらいの社員がケア輸送士の資格を取得されていますか。

野村 約8割の社員が資格を取得しています。有資



左から、今井さん、野村社長、青木さん。女性ドライバーは高齢者や女性客に人気。女性の活躍が企業のイメージアップにつながります。

格者は県内タクシー会社でもかなり多い方です。

— どのような効果がありますか。

野村 取得費用は全額会社持ちですので負担は大きいですが、利用者の方からは資格や技術を持つ人の車椅子の押し方ひとつとっても安心感が違うと評判を頂きます。更には健常者の方の対応にも細やかな配慮や心遣いなどの相乗効果が生まれます。

私たちはお客様から直接頂く厳しいご意見もある

が、誉められればやりがいや張り合いが生まれます。社員の価値を高める・付加価値をつけることは仕事へのやりがいを見出すことができ、バランスの取れた充実した生活が送れるようになります。

やはり人の集まり、男女区別無く、皆がやりがいを持ち働くことが経営理念でもある社員の価値を高め質の高いサービスを提供することに直結し、会社としても他社との差別化を図り、高い効果を上げていると思います。

### column.....

## タクシードライバーは女性でも立派に勤まる仕事

女性ドライバー  
今井朋子さん

15年前、短大卒の女性としては、全国最年少女性ドライバーの誕生と新聞で話題となり、今でも変わらずにハンドルを握る今井さん。

「面倒見の良い先輩が多く、社内が垣根なく好きな事を言い合っています。居心地が良い職場なので今日まで続けることができたのだと思います」

